「日本マンドリン連盟成立までの経過と、九州支部発足の話」

前号でお知らせしたように、２月の総会の席で、日本マンドリン連盟や、九州支部の結成当時の 貴重なお話を聞くことができました。
鈴木嘉教前事務局長が、過去の記事を調べ、結成時の様子や、マンドリンコンクールのことについて、調べて下さいました。ありがとうございます。
今号では、連盟結成当初のお話を紹介します。　（ コンクールについては、また次号で ）

以下、①、②、③の原稿は、日本マンドリン連盟の機関誌、創刊号（**昭和 44 年** 9 月 15 日発行）からの転載です。

鈴木嘉教

①日本マンドリン連盟成立までの経過

日本マンドリン連盟　理事長　伊東尚生

昭和４0年、ドイツの越智敬氏より「ドイツ人から君の国の連盟はどうなっているかをよく尋ねられるのでつらいです。何とかして早く出来ないでしょうか」との意味の手紙をいただいた。そう云えば今迄に 日本マンドリンの統一された事もないし、現在誰も手をつけようともしない。それ程 此の問題は大きく、困難な仕事であるからであろう。或る時ふと先輩 高橋三男氏並びに畏友荘村正人氏にフレット誌を利用して先ず手取り早いマンドリン・ソロ・コンクールをやってみよう。そうすれば次第に全国のマンドリン界がお互いに協力統一しようとの機運が盛り上がって来ないだろうか、と話して同氏の賛同を得た。且つ此のコンクールは全国の愛好者の協力がなければ出来ないことなので、皆さんに集まっていただいて相談してみようと計画しました。

そして昭和 41 年 12 月 4 日、杉田村雄氏、高橋三男氏、荘村正人氏等の御協力を得て、東京の第一生命ホールに御招待申し上げた。その時は 60 名にお願いして約 42～3 名の出席があり、全面的に協力して下さると云う温かい申出を受け、昭和 43 年 1 月 10～15 日までの間にコンクールを行うことになり、審査員も 7 名決定した(後日 1 月 14 日に決定)。そしてこの集まりは**“全日本マンドリンの群れ”**と命名された。

さて実際に手をつけて見るとフレット社主催では NHK も諸新聞も後援してくれないことがわかり、協会とか連盟の必要性を痛感した。

そこで次の昭和 42 年 12 月 17 日、第 2 回の「全日本マンドリンの群れ」を同様の世話人で開催し、連盟の必要性を説明して、集まられた全国のマンドリン指導者の方々に、日本を統一した機関を作ることに賛同を得た。そしてその際、規約の起草委員を全国で 15 名選出し、小生が草案を作って各起草委員に送り、翌年の 12 月までに纏める事を約束した。

かくして昭和 43 年 12 月 15 日、第 3 回の集会を持ち、規約を検討して、成立し、名称は、**日本マンドリン連盟** Japan Mandolin Union と命名された。更に役員も決定（②参照)、日本 7 地区の支部長も決定して、第 2 回のマンドリン・ソロ・コンクールに御協力いただくことも決定をみた。

第 1 回のマンドリン・ソロ・コンクールは全国よりの御賛同を得、又予選でも北海道より九州までの参加者が残り、決戦を行い、成果を収めた。然しもう一回マンドリン・ソロ・コンクールを行えば全国統一に大きい方便ともなると考えたので前述のように提案した。そして翌年昭和 44 年 11 月までに予選を行い、本選は昭和 45 年 3 月末か 4 月初旬に行う事を提案し、之も、了承を得た。

現在、各地区支部長の御骨折りにより 7 地区に支部が結成され、現に、盛んに活躍を始めておられる地区もある現状である。まだ JMU 会員は少数であるが、来年はずっと増加することが予想される。

日本マンドリン連盟の成長はこれからで、全国よりの役員並びに会員の御意見をどしどしと取り入れて、いろいろの事業をやってゆき、立派な内容の JMU の充実を計り度いものである。

附記

第 2 回日本マンドリン独奏コンクール本選は、名古屋市愛知文化講堂にて明年 4 月 26 日(日)に行うことに決まり、岐阜県知事を通じ愛知県知事に依頼して決定したい予定である。

②日本マンドリン連盟(J・M・U)役員

会　長　田中常彦
副会長　小西誠一　高橋功　中野二郎　服部正
理事長　伊東尚生
副理事長　杉田村雄
監　事　岩井澄夫　川口優和　木下一男
常任理事　(△印は支部長兼任)
赤城淳　荻原正弘　△川崎貞利　△九島勝太郎　兒玉久　△後藤昌治　荘村正人
高橋三男　△鳥井諒二郎　△福田五彦　△松木静四郎　△和田要一
理　事　高橋五郎　竹内郁子　縄田政次　南谷博一　松尾保作　宮田俊一郎　山口寛
帰山栄治(名大 OB)　松本譲(同志社大 OB)
支部長　(北海道) 九島勝太郎　(東北) 松木静四郎　(関東)川崎貞利　(中部)後藤昌治
(関西(近畿))鳥井諒二郎　(中国・四国)和田要一　(九州)福田五彦
顧　問　伊藤翁介　大栗裕　甲藤三千雄　木村弦三　酒井正忠　佐々木政夫　菅原明朗
鈴木静一　高田金八　高野吉司　月村嘉孝　富田艶子　鍋谷幸一郎　西村鉄二郎
平山英三郎　比留間絹子　掘清隆　宮田信義(4 月 12 日逝去)

③九州地区マンドリン関係者の集い並びに九州支部発足についての報告

昭和 44 年 4 月 27 日(日)午前 11 時より大分市“グリルまき”にて 九州地区マンドリン関係の方々の親睦と、日本マンドリン連盟の結成発足と九州支部設置その他についての懇談会開催の御案内に対し、兒玉久、秦政弘、松井達喜、林田戦太郎、池田国昭、前田益代、堤功、桑島士郎、河野孝義、高橋孝子、大沢富子、衛藤きみ子、村上昌宏、河原隆男、福田五彦以上 15 氏の御出席を得て和やかに開催した。

まず福田氏より九州地区マンドリン関係の方々の集いの開催の主旨についての御挨拶後、自己紹介と懇談に移り、児玉久氏より日本マンドリン連盟結成と発足について経緯説明し、連盟規約の研究と質疑応答の後、連盟の主旨と規約を了承、つづいて支部規約(案)を検討し一応これを了承されたので出席者全員の賛同により、これより九州支部発足準備協議会に切り替え討議の後、本日の出席者の中より、支部役員を選出することにして懇談、協議の結果

支部長　福田五彦　副支部長　兒玉久
監事　松井達喜　副幹事　秦政弘　会計監事　池田国昭

以上 5 氏を 出席者全員の賛意を得て 九州支部役員に選出、昭和 44 年 4 月 27 日より 日本マンドリン連盟九州支部として発足する事を決定した。